

パーキンソン病治療薬を服用中の 患者さんにご家族へ

パーキンソン病の治療薬の影響で、
「病的賭博(ギャンブル依存症)」「買いあさり」など
といった「衝動制御障害」が起こることがあります。
このような症状があらわれたときには、
すぐに主治医に相談してください。

※具体的な症状については裏面をご覧ください。

**衝動制御障害は、パーキンソン病の治療に使われる
ドパミンの働きを補うためのお薬を服用中にみられる
ことがあります。**

お薬の減量や変更、中止により症状が改善する場合
がありますが、自己判断せず、必ず主治医の指示に
従ってください。



衝動制御障害の主な症状

次のような症状があらわれたときには、すぐに主治医に相談してください。

病的賭博(ギャンブル依存症)

経済的に苦しくても賭博にはまってやめられない

性欲亢進

性的な欲求を抑えられない

買いあさり

必要もないものを大量に購入する

薬物の過剰摂取

それほど症状は悪くないけれども薬を内服したくてたまらない

むちゃ食い

大量の食べ物を短時間に食べる

反復常同行動

手芸、園芸、掃除、衣類などの整理といった動作を無目的に、かつ、長時間にわたり繰り返すような行動

医療機関名